



ニ中だより

平成21年度3月号 平成22年3月1日

新座市立第二中学校 校報部

新座市野火止7-17-10

☎ 048(477)1212



校訓	まごころ
学校教育目標	
明	朗
向	上
自	主・自立

進路を考える

校長 森田和憲

春一番が吹き、徐々に春めいてきました。校庭の木々も芽を膨らませ、春を待っています。

3年生は、県公立高校の前期入試が終了し、残すは、後期入試となりました。3年生が登校してくる日は、あと11日になります。

3月を迎え、後期の入試にこれから向かいつつ、卒業証書授与式に向けての準備も着々と始まっています。

1・2年生は3月5日の三送会に向けて、準備を進めてくれています。きっと三年生を送り出す気持ちのこもった三送会になることなのでしょう。期待しています。

入試制度の改革

今年度の県公立高校の入試は、前期、後期の学力検査の時期がこれまでより遅くなり、前期が2月16・17日、後期が3月4日となりました。

また、昨年度までは、前期は調査書（中学校での学習の記録、活動の記録を高校へ伝える書類）と面接を中心として選抜が行われましたが、前期入試にも国・社・数・理・英の学力検査が行われることとなり、後期入試は、国・数・英の3教科の学力検査が行われます。

これは、中学校での学力をきちんと身に付けて高校へ入学してほしいという意向によるものです。

1・2年生もこの入試制度の下で、受検（県公立の場合は、学力検査を受けるということからこの字を用います）をしていくこととなります。調査書には、1・2年の成績も記されますから、今現在の学習が大切です。日々の生活を大切に、毎日の学習をきちんとしていくことが、自分の夢をかなえることにつながりますので、油断せず

に頑張ってください。

進路とは進学すること？

卒業後の「進路」という言葉がありますが、とかく「進学」だけにとらわれがちな現状があります。目先の高校進学のことだけでなく、自分の将来を考え、自分は何が得意なのか、何が不得意なのか、自分のどこを伸ばす必要があるのか、将来どのような大人になっていたいのか、どのような職業に就きたいのか等を考えておく必要があります。

「まだ、何がしたいかわからない」という声をよく聞きますが、今、決めるということではなく、どんなことがしたいか考え、そのためにはどのような道があるのか、どのように準備していけばよいのかを考えていくことは、必要なことです。「とてもかなわないから」というように考えず、ひとつ考えた道を調べてみることで、新しい道が見つかってくるものです。一步を踏み出してみることが重要です。それを考えるのに早すぎるということはありません。

私は、中学校2年のとき、父から「お前が将来何をしたいのか決めなさい。そして、どうしたらその道に進めるか先生に聞いてきなさい」といわれた覚えがあります。その時は大変迷いましたが、その時なりの夢を持ちました。それは、今の職業ではありませんが、自分の進路を選んでいく大きな指針になったことは間違いありません。

ぜひ、進学の前に、進路の夢について各ご家庭でも話し合ってください。



芽を膨らませ
春を待つ
校庭の木